

『教育は字隠し遊び』

この夏の君たちの動きをはじめ、今年度になって改めて感じるのは、色んな企画・募集に対して「手を挙げる」人、つまり**主体的に行動する人**が多くなったということです。海外研修、コンクールやボランティアや、大学説明会やオープンキャンパスもそうです。場面は違いますが、講演会での講師への質問も沢山手が挙がっています。**主体性や積極性**を感じ、とても嬉しく頼もしく思っています。

昨年、「**チャンスは、新聞のように毎日届けられている。諦めるな**」ということをお話しました。皆さんが自分を高めたり一歩を踏み出すチャンスは、毎日配達される新聞のように、皆さんのもとに平等に毎日のように届けられています。日々の授業もチャンスの一つです。要は、その**チャンスを掴む一歩を踏み出すか否か**です。今だからできるチャレンジが沢山あるはず。2学期以降も、自分にとってのチャンスを、自分から進んで掴みにいって欲しいなあと思います。

さて、このお盆に、かつて担任した不惑(40歳)を迎える生徒たちが還暦祝と称して同窓会を開いてくれました。私は、今年還暦。11月の誕生日で満60歳を迎え今年で退職です。卒業生と話していると、先生の授業は……という話になり、先生の言ったあの言葉が今でも忘れられないという話になったりします。今回複数の生徒が、当時私が紹介したレイモンド・チャンドラー(アメリカの小説家)の「**タフでなければ生きていけない。優しくなければ生きている資格がない**」という言葉をお話しました。今でも忘れず、彼らの中で生きていることをとても嬉しく思い、「**字隠し遊び**」を思い出しました。

私は若い頃から折々に琴線に触れた言葉をメモして「**言葉集めノート**」のようなものを作って来ました。昭和55年11月、大学4年生の時のメモを読みます。

「ドロまみれ、汗まみれで遊んでいた日々。誰もが過ごした少年の日に『**字隠し遊び**』をした経験があります。遊び疲れて、大きな樹の下にドッカーリ座り込みます。木ぎれで地面に文字を彫り込んで、そこに土をかけてわからなくします。彫り込んだ文字のあてっこです。かけた土をどかして、丁寧に文字を探します。(中略)僕は学校で働くようになって、時々この『**字隠し**』ごっこを思っています。(中略)僕はせっせと文字を刻む。『**字隠し**』みたいに。今は読んでもらえなくても、今すぐ役に立たなくても、いつかは文字が表れて「ア、ソウダッタノカ」と、ポンと手を叩く日のために。

(中略) **教育の仕事は『字隠し』だ**…… (以下略) <読売新聞 S55.11.30 尾道市長江中八ツ塚実先生>

皆さんは字隠し遊びを知っていますか？私は子供の頃よくしました。採用試験に合格して教員になることが現実になった時期だからこんな新聞記事が目止まったのだと思いますが、私はそれからずっと、「**教育は字隠し遊び**」だと考え、自分なりにせっせと文字を刻もうとしてきたと思います。今の本校の先生と生徒との間にも、日々「**字隠し**」が行われていることと思います。

もう少し補足すると、これは具体的なある言葉のことだけではなく教育活動全般に言えることだということです。例えば**部活動の意義**なども、今すぐ分かることではなく、終わって卒業して暫くして初めて、ああ部活をやっていた本当に良かったなあと思うのではないかと思います。何事も**人は渦中にある時は大変だ**という思いが強く、**渦中を過ぎて初めてその意味に気づく**のではないかと思います。

本校が今、**SSH・SGH**で取り組んでいる**課題研究**。中には、直接成績とも関係ないし、やる意味が分からないという人もひょっとしたら未だいるかもしれません。しかし、**今の世の創造的な仕事はみんなプロジェクト**で行われています。この課題研究で培おうとしている力こそ、きっと将来の皆さんに最も必要になってくる力だと思います。

一昨年の6月の私のメモに、「**人工知能(AI)の時代で変わるこれからの教育**」という文章から抜粋した「**これからの子どもたちに必要になる力**」があります。それは、「**思考力**」・「**問題解決力**」・「**コラボレーション力**」・「**コミュニケーション力**」の4つです。

また文部科学省は、「**PBL授業**」というのを提唱しています。

Project Based Learning 問題解決型授業
Problem Based Learning 課題解決型授業 (という言い方もあります)

本校の課題研究もこの「**PBL授業**」の一つで、主に今挙げた4つの力を養うものです。今はそれを実感できないかもしれませんが、大学や社会に出てから、字隠し遊びのように、彫り込まれた文字に気づくのではないかと思います。

2学期最初の一大生徒会行事「**久徴祭**」。これはまさしく、**多くの人とコラボ(協働)して無から有を創造するプロジェクト**です。今年の全国高校野球選手権のスローガンを借りれば、まずは皆さんにとって、「**じぶん史上最幸の久徴祭**」となるように集中して取り組んで欲しいと思います。

私たち教員はこの2学期も、**君たちが大きく花ひらいてくれることを念じています**。